

民進

Minshin Press (民主改題)

衆議院議員
近藤 昭一

2016年3月28日発行

号外 3、4月号改訂版
第138号

本紙 第1・第3金曜発行 通常号 定価100円

愛知3区 (昭和区・緑区・天白区) 地域版

連絡先: 民進党愛知県第3区総支部

〒468-0058 名古屋市天白区植田西3-1207

TEL:052-808-1181 FAX:052-800-2371

<http://www.kon-cho.org>

「民進党」はじまる！国民とともに進む！

近藤昭一衆議院議員は、引き続き党幹事長代理として、立憲主義を守り、共生社会を創造するためにたかいます。近藤議員に今後の抱負を語ってもらいました。

拝啓 いつも会報を読んでいただき、ありがとうございます。

3月27日に東京都内において民進党結党大会が開かれました。巨大与党に対抗し、立憲主義を守り、国民が主役の政治をつくるため、野党共闘の大きな核をつくっていく覚悟です。先立つ2月19日には、野党5党(当時)で安保法制廃止法を提出し、5党首会談では、あらゆる場面で協力することに合意しました。参院選挙後の改憲をめざして暴走する安倍政権にストップをかけるため、市民の皆さんの後押しが、政治に大きな変化を与えています。

3月1日の衆議院本会議では、民主党(当時)が中心となって、格差是正のための予算配分が不十分だと、組み替え動議を提出しました。残念ながら否決されましたが、共産党を含む野党5党が賛成するというかつてない判断と行動がありました。また、

今国会で山尾しおり議員が質問し、大きな注目を集めた保育所問題に関連しても、保育士等の処遇改善法案をこれもまた5野党共同で提出しました。給与を5万円引き上げるといふもので、極めて低賃金で働く状況を改善するため国が直接支援を払うという内容です。

国民の皆さんの声をしっかりと受けとめるための活動がどんどん広がっています。小異を残しつつも、立憲主義を守るため、大同についた行動を今後も進めてまいります。

敬具

2016年3月28日 衆議院議員 近藤昭一



Facebook 毎日更新中！

近藤昭一 プロフィール

1958年、名古屋出身。千種高校、上智大学卒。中日新聞社を経て、96年衆議院議員初当選。以後7期連続当選。衆議院外務委員会筆頭理事、総務委員長、環境副大臣等を歴任。現在、党幹事長代理、立憲フォーラム代表、原発ゼロの会共同代表、交運労協政策推進議員懇談会会長、党エネルギー環境調査会副会長、沖縄等米軍基地問題議員懇談会会長、北方領土返還要求愛知実行委員会代表等。

経済をよくするためには、一人ひとりが元気にならなければ！

経済の活性化は重要な課題です。景気の半分は企業の活動です。一方でもう半分は個人消費です。個人が安心してモノを買えなければ、景気はよくなりません。例えば、将来への不安が大きい現在では、多くの人が節約し、お昼ごはんも出来るだけ安く済ませます。もちろん、豪勢なお昼を食べましょうと言っているわけではありません。しかし、仮にお昼ご飯で一億人が50円多く使うと計算すると、一回に50億円が多く動くわけです。そして、それが食事を提供する人たちの給料にもつながるのです。

年収300万円の暮らしを比較すると、フランスやチェコでは相当な暮らしが出来るが、日本では将来の見通しも立たないという報告があります。日本での暮らしでは、子育て、教育や医療・社会保障にかかる費用が大きく、さらに仕事が非正規であったりして、将来の年金への不安も大きく、自由に使えるお金が少ないからだと言われています。日本では、こうした分野への税の投入(厚生年金や健康保険の適用拡大、住宅費支援、家族向け給付の拡充、返済しなくてもいい本当の奨学金)が他の先進国と比較して非常に少ないのです。そのため、これらにかかる個人負担が大きく、景気にも影響を与えます。

民進党はこうした状況の改善が必要だと考えています。格差を是正し、安心して安全に暮らせる「共生社会創造」をめざします。

共生社会創造に向けた11の提案

【教育格差の壁を打ち破る—「子どもの貧困」と戦う】

- (1) 児童扶養手当の大幅拡充
- (2) 渡しきり(給付型)奨学金の創設

【雇用格差の壁を打ち破る】

- (3) 有期雇用の入り口規制を導入する
- (4) 最低賃金を引き上げる
- (5) 介護職・保育職の待遇を改善する
- (6) 社会保険の適用拡大

【男女格差の壁を打ち破る】

- (7) 「同一価値労働同一賃金」の法定化
- (8) 選択的夫婦別姓を実現する
- (9) 低年金者に対する支援

【長時間労働の壁を打ち破る】

- (10) 労働時間規制の強化・インターバル(休息)規制の導入

【“格差の壁”を打ち破るための財源】

- (11) 金融所得課税の引き上げ

教育、子育て—フィンランド訪問

昨年12月13日から16日までフィンランドを訪問。目的は同国の①教育②出産・子育て支援制度の研究です。①教育：フィンランドは、学校教育を生涯学習の最初の段階と位置づけ、年齢・経済状況等にかかわらず、全ての国民に平等の教育の機会を提供することを原則とし、大学まで無償です。また、基礎総合教育(日本の中学校まで)では、

いわゆる「落ちこぼれ」をつくらない教育を目指しており、国際的にも高い評価を得ています。②出産・子育て支援：「ネウヴォラ」という、家族全員(ここがポイント)を対象とする「妊娠・出産から子育てまで家庭を支援するワンストップサービス」制度があります。ヘルシンキ市では、97%の家庭が利用し、低下した出生率は1.9を上回るまでに回復しています。設立当初からワクチン接種、健康診断も含め無料。フィンランド国内全国で800ヶ所以上あります。一人ひとりを大切にする共生社会創造のための原点を見ました。



アスベスト訴訟で国の責任を認める判決

1月22日の関西建設アスベスト大阪訴訟判決では国の責任が、29日の同京都訴訟判決では国の責任のみならず、初めて石綿建材メーカーの責任も認められました。近藤議員は、民主党アスベスト対策推進議員連盟の会長として、判決を受け、超党派野党議員で厚労省・国交省への申し入れを行いました。また、全ての被害者の救済のための基金を創設するため、法案作成に取り組んでいます。

愛知県第3区総支部幹事会



3月13日、第3区総支部（総支部長近藤昭一）は、幹事会を開催し、党の合流についての経過報告を行いました。近藤総支部長は、「安倍政権の一強体制に挑み、もう一度政権にチャレンジする政党として頑張るための新党である」と説明しました。



止めよう！辺野古新基地建設2.21国会大包围

2月21日、「止めよう！辺野古新基地建設2.21国会大包围」が開かれ、2万8千人が集った。稲嶺進名護市長、ヘリ基地反対協の安次富浩氏、沖縄選出国会議員らのアピールの後、党を代表して近藤昭一議員が挨拶に立った。近藤議員は、5野党共同で安保関連法を廃止する法案を提出したこと、5党で安倍政権を倒すため、「あらゆる場面でできる限りの協力」をする合意をしたことを報告。辺野古新基地建設は安倍政権の強権政治の象徴であり、力をあわせて頑張ろう！と訴えた。

安保法制は廃止あるのみ！

戦争させない・九条壊すな！総がかり行動実行委員会呼び掛けによる「戦争法発動反対！戦争する国許さない！3月29日施行閣議決定反対！国会議員会館前座り込み&スタンディング」で、近藤議員が党を代表して連帯の挨拶。あの昨年9月19日以降も、「戦争法」反対の声をあげて多くの市民が活動を継続している。安倍内閣は同法案の施行を3月29日と閣議決定したが、法案に反対し発動を絶対に許さないと、沢山の方が座り込みとスタンディングで意思を表明。野党共闘への市民の皆さんの後押しに感謝し、民進党も共に頑張っていくと決意表明した。



「40年廃炉」撤廃、高浜原発の延長運転は許さない！

原発ゼロの会(代表=近藤昭一)は、国会エネルギー調査会(準備会)を開き、脱原発への道筋を求めています。ここに来て大きくなっているのは、安倍政権がFIT制度の見直しを進めていることへの危機感です。他の国に比べてまだまだ再生可能エネルギー導入割合の低い中での見直しは導入にブレーキをかけかねません。しかも、再生可能エネルギー導入のコストについて、問題視する一方で、無駄の塊と言われる核燃料サイクル計画を見直す気配はありません。また、4月から始まる家庭向け電力小売り自由化にあたり、消費者の選択のために、調達する電力の電源構成の公表を原発ゼロの会も強く求めましたが、義務化は見送られました。

民主党政権時に、私自身が関わって決定した「40年廃炉」原則さえも、高浜原発で安倍政権は破ろうとしています。問題だらけで無責任な原子力発電から一刻も早く撤退すべきです。

石橋みちひろ参議院議員(全国比例)を囲んで国政報告会



2月22日、今夏改選となる石橋みちひろ参議院議員を囲んで国政報告会を近藤事務所で開催しました。冒頭、近藤昭一議員が「自民党の一強体制が続いている中で、国民の声に耳を傾けず一部の人のみための政治が続いている」と、現在の国政の状況を批判し、「石橋議員は、国会に必要な大事な仲間である。」と紹介しました。石橋氏は、「国民誰もが、安心して安全な生活ができるよう『つながって、ささえあえる社会へ』力を合わせて取り組みたい」と訴えました。

案内：近藤昭一出版記念の会～初当選から20年、新たなる飛躍に向けて～

近藤昭一議員の名著『アジアにこだわる、立憲主義にこだわる』が、5月中旬に出版の運びとなりました。右記の通り「近藤昭一出版記念の会」を開催いたします。

日時：5月22日(日) 16時～(2時間予定)
 場所：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 7階
 ザ・グランコート 愛知県中区金山町1-1-1
 会費：8,000円(定員400名、着席式)
 お問合せ・お申込みは近藤昭一事務所まで

参議院比例代表選挙に19人を公認内定(2月29日現在)

氏名	主な経歴、役職	氏名	主な経歴、役職
有田 芳生	ジャーナリスト	なんば 奨二	郵便局員
石橋 通宏	全電通中央本部職員	西村 まさみ	歯科医師
江崎 孝	三橋町役場職員(福岡県)	白 眞勲	内閣府副大臣、新聞社員
大河原 雅子	東京生活者ネットワーク代表委員	濱口 誠	トヨタ自動車社員
川合 孝典	帝人社員	藤川 慎一	ジーエス・ユアサ社員
小林 正夫	東京電力社員	藤末 健三	総務副大臣、通産省職員
田城 郁	JR東日本社員	前田 武志	国土交通大臣、建設省職員
田中 直紀	防衛大臣、新潟県バス協会会長	森屋 たかし	西東京バス社員
轟木 利治	大同特殊鋼社員	矢田 稚子	パナソニック社員
なたにや 正義	小学校教員		

愛知県選挙区では、現職の斉藤よしたか氏の公認と新人の伊藤たかえ氏の推薦が決まっています。



現職
1期・元教員
斉藤よしたか



新人・会社員
伊藤たかえ

こんちゃんサポーター倶楽部会員大募集中!

こんちゃんサポーターへのご参加をよろしくお願いたします。年会費3,000円、会報をお届けします。近藤昭一事務所が主催するイベント等のご案内をします。問い合わせ・申し込みは近藤事務所までお願いします。

衆議院議員 近藤昭一事務所

名古屋市天白区植田西3-1207

TEL: 052-808-1181 FAX: 052-800-2371

Email: konchan@kon-chan.jp